

自然と産業が調和する町 黒瀬町

【人口】22,812人 【世帯数】10,028世帯 【面積】63.84km²
【特産品】日本酒、黒瀬の牛肉、ナス、ぶどう、黒瀬たこ焼きなど

※人口・世帯数：平成29年3月末住民基本台帳

黒瀬町ってどんなところ？

東広島市の南西部に位置する黒瀬町は、周囲を広島市、呉市、東広島市の中心部に囲まれています。

町内には東広島呉道路、矢野安浦線などの主要道路が走り、広島市、呉市、東広島市の中心部まで車で約30分という非常に利便性のよい場所にあります。

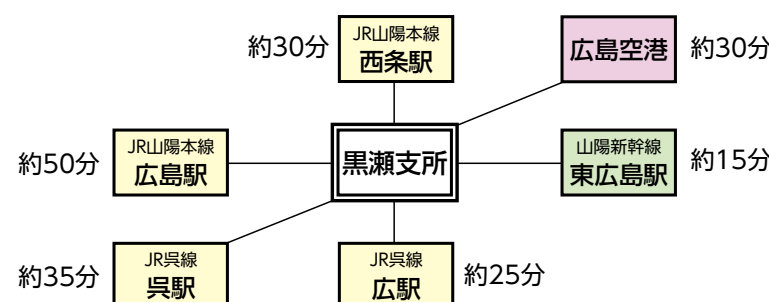
また、町内には福祉系の広島国際大学が立地し、県立黒瀬高等学校では福祉の学科が設けられるなど、町全体で福祉に取り組んでいます。



「龍王山総合公園」は平成29年度中の完成予定です。

交通・アクセスはありますか？

黒瀬支所からの車での移動時間です。



東広島市の中心部（市役所）まで車で約30分です



平成27年「東広島呉自動車道」が全線開通し、ますます便利に。
平成29年「大多田IC」が開通し、東広島市中心部までの所要時間が短縮されました。

地域のイベントをおしえて？

7月 黒瀬ふれあい夏祭り（黒瀬生涯学習センター周辺）

スペシャルゲストによるライブをはじめ、地元の出演者による演奏やダンス、子ども向けイベントなどが行われます。バザーコーナーでは、黒瀬たこ焼きをはじめ、かき氷、焼きそば、近隣地域の特産品販売などの出店がずらりと並びます。エンディングの打上げ花火は、お祭り気分を大いに盛り上げます。

10月 黒瀬町健康福祉まつり（黒瀬生涯学習センター）

車椅子、手話などの福祉体験コーナーや健康福祉に関する各種相談コーナーのほか、音楽コンサート、屋台、バザーなど毎年盛大に開催しています。

その他にも、大小様々な地域のイベントが開催されています。



「黒瀬ふれあい夏祭り」は毎年多くの人で賑わいます。

移住者に聞く、黒瀬町の暮らしとは？

●池田 久美さん一家のプロフィール

現住所：広島県東広島市黒瀬町大多田
移住した年：1988年（呉市東辰川町→現在）
家族構成（※移住当時）：4人（本人、夫、長女、次女）
前職：専業主婦
現職：「香木堂」代表
HP：http://www.kobokudo.jp/



「香木堂」スタッフと池田さん（左から二人目）

●黒瀬町へ移住した経緯は？

人混みや家が密集しているところではなく、のびのびと暮らせる環境を探して呉市や熊野町などで家を探しました。その中で黒瀬町の空が一番広く見え、空気もおおいかったのを覚えていてます。

車で30分ほど走れば東広島市の中心部や呉市、広島市へ行ける立地の良さもこの町の特長だと思います。我が家から小学校までは歩いて少し距離がありますが、その登下校の間も自然に触れ合え、のびのびと子どもを育てられることが教育面からも良いと思い、主人と二人の娘と一緒に黒瀬町へ移住しました。

●現在のお仕事は？

今から十数年前に工場付きの土地を買い、最初は玄米菜食のカフェを始めました。お菓子作りも始め、2009年にかりんとう工房「香木堂」を開店。当初は塩やゴマなどのかりんとうをつくっていましたが、甘酒好きの私が2種類の酒粕を使い、別々の鍋で甘酒を作っていた時のことです。酒粕によってこんなに味に違いがでるのかと驚きました。それにかりんとうをつけて食べると…おいしい！それが酒粕かりんとう誕生のエピソードです。

4、5年前にカフェは閉店し、現在は私と7名の女性スタッフで作っています。

自ら売り込みに行くほかJ A広島中央となりの農家や道の駅などで販売を開始したかりんとうは、現在、青森から福岡まで全国各地の店頭で販売しています。

●黒瀬町の生活環境はどうか？

【買い物】

町内には大型商業施設や複数のスーパーマーケットもありますので、普段の買い物であれば町内で間に合います。

【子育て・教育】

私の娘が小学生の頃は、登下校中に出会った全ての人へ大きな声であいさつしていたのを覚えていてます。高校は町内に2校（県立、私立）ありますし、西条方面や呉市内の高校までバスで通っている子もたくさんいます。教育面では特に不便は感じないと思います。

【医療】

病院や診療所が多くありますし、クリニックが集まった地域もあります。歯科診療所も多くありますので医療面で普段不便することはないと思います。

【交通】

車があれば不便なことはないと思います。国道375号線を中心に路線バスも走っています。

【レジャー】

私たち家族がよく遊びに行ったのは黒瀬ダムですね。広場でバドミントンをしたり犬の散歩をしたりしたのが思い出に残っています。

●生活コストはどうか？

野菜を作っている農家さんも多いので、新鮮な野菜が安く手に入ると思います。水道代は移住前と比べると少し高くなったことを覚えています。

●黒瀬暮らしの生活必需品は？

車（冬用タイヤも）は必要ですね。あと、家の周りが田んぼだと湿気が少し気になりますね。でも、暑過ぎず、寒過ぎず、過ごしやすい土地だと思います。

●黒瀬町のおすすめスポットをおしえて？

町内にある温浴施設（雲母の里）も人気スポットで多くの人が訪れています。現在整備中の龍王山総合公園が出来上がるのも楽しみです。

●移住を考えている方へメッセージをお願いします！

住宅街に限らず、空き家を探しても楽しいと思いますよ。（私自身も古民家を探しています。）仕事は車で30分圏内で色々探せると思います。

人も多いし、多方面にアクセスできる道路環境もあります。何かにチャレンジするのも可能性が大きいところだと思いますよ！



名菓「酒粕かりんとう」には東広島の酒造会社の酒粕が使われています。

2017年取材時

問い合わせ先

広島県 東広島市 政策企画部 市政情報課
〒739-8601 広島県東広島市西条栄町8番29号
電話 082-437-3021 FAX 082-422-1395
メール hgh200919@city.higashihiroshima.lg.jp

Webサイトも
チェック☞



黒瀬町 暮らしのマップ

子育て・教育環境

町内に、公立保育所5カ所 幼稚園3カ所（うち認定こども園2カ所）、公立小学校5校、公立中学校1校、県立高校1校、特別支援学校1校、私立中学・高校各1校、大学1校があり、また、東広島市内や隣接する呉市、広島市にも多くの教育機関があります。

買い物

町内に、大型スーパーが4カ所、コンビニ（24H）が多数あり、さらに大型スーパーでは黒瀬町内の農家の方が作られた新鮮な野菜や米もあわせて販売していますので、普段の買い物なら町内で完結します。また、東広島市の中心部や隣接する呉市まで車で出かければ家電、服、その他必要なものは何でも揃います。

医療機関

町内に、病院・診療所、歯科診療所が多数ありますので安心です。

公共交通

中国JRバスが町内の主要路線を通り、広電バスが黒瀬学園台に位置する広島国際大学と呉市を結んでいます。さらにこれらの主要バスが通らない路線については、東広島市黒瀬支所を発着点としたコミュニティバス（黒瀬さくらバス）がカバーしています。

住まい

赤い屋根瓦の昔ながらの家並みと瀟洒な外観の住宅が並ぶ住宅団地が見られます。

都市計画の区分では団地を除く全域が市街化調整区域なので開発や賃貸には厳しい条件が伴います。

あなたに合った空き家を探して、素敵にリフォームしてはいかがでしょうか？

<上水道>

ほぼ全域で接続可能です。

<下水道>

一部地域で農業集落排水と下水処理施設があり、その他の地域においても浄化槽設置で生活に支障はありません。

レジャー

黒瀬生涯学習センター、黒瀬図書館（町内4カ所を移動図書館車が巡回）、黒瀬屋内プール、黒瀬市民グラウンド、黒瀬B&G海洋センター、龍王山総合公園（H29年度完成予定）、多目的グラウンド（H29年度完成予定）のほか、民間の美術館、ゴルフ場など楽しめる場所がいっぱいあります。

龍王山総合公園には多目的広場のほか大型遊具やサクラの丘などが整備され世代を超えた交流が楽しめる公園となる予定です。

